ラサ工業（4022）が年間43円へ増配予想｜台湾増産と半導体材料の伸長、利益の持続性を確認



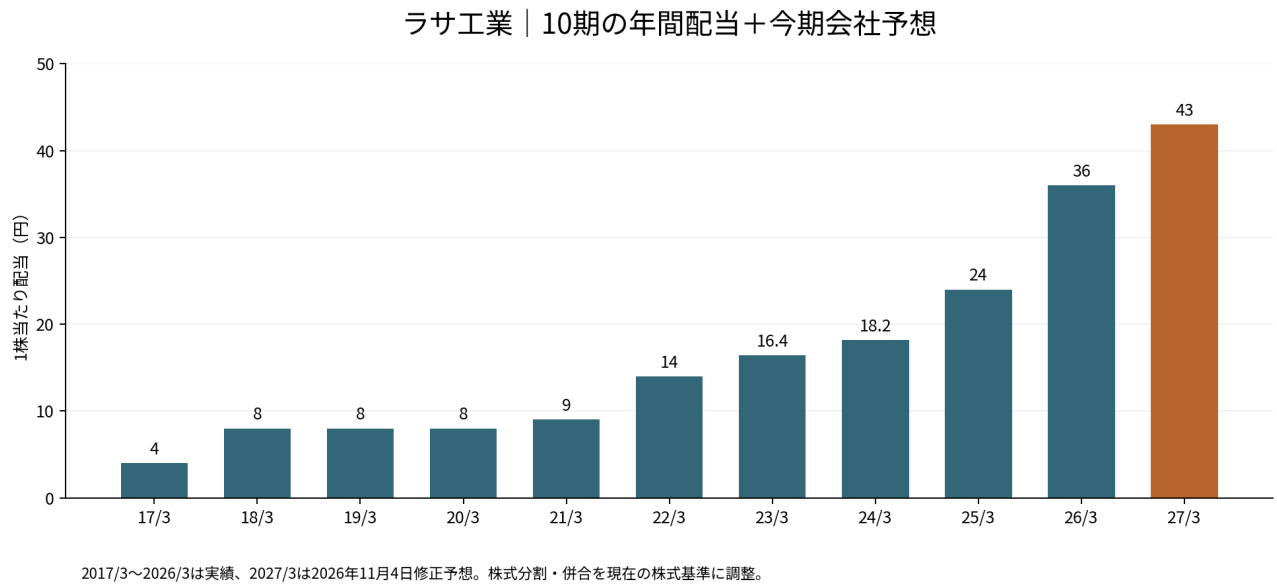
ラサ工業は2026年11月4日15時30分、2027年3月期の年間配当予想を36円から43円へ引き上げました。通期営業利益予想も62億円から74億円へ増額しています。半導体向け材料の伸長と台湾の増産効果が中心ですが、ガリウムのスポット販売による押し上げも含まれています。

同社は高純度リン酸などの化成品を主力とする化学メーカーです。機械、化合物半導体向けの電子材料も手掛けています。今回の発表は中間決算前の予想修正です。利益の拡大が配当の継続的な成長につながるかを確認します。

今回の増配

対象	年間配当
2026年3月期実績	36円（分割調整後）
2027年3月期・前回予想	36円
2027年3月期・今回予想	43円（中間18円＋期末25円）
増配幅	前回予想・前期実績比とも7円、19.4%増

2026年4月1日に1株を5株とする株式分割を実施しています。前期の年間180円は現在の株式基準では36円です。今回の43円を分割前の180円と比較して減配と判断することはできません。増額分は期末配当予想に上乗せされ、今回の開示に記念・特別配当の記載はありません。



年間配当は現在の株式基準に調整。2017年3月期〜2026年3月期の10期は実績、2027年3月期は会社予想です。

直近決算の振り返り

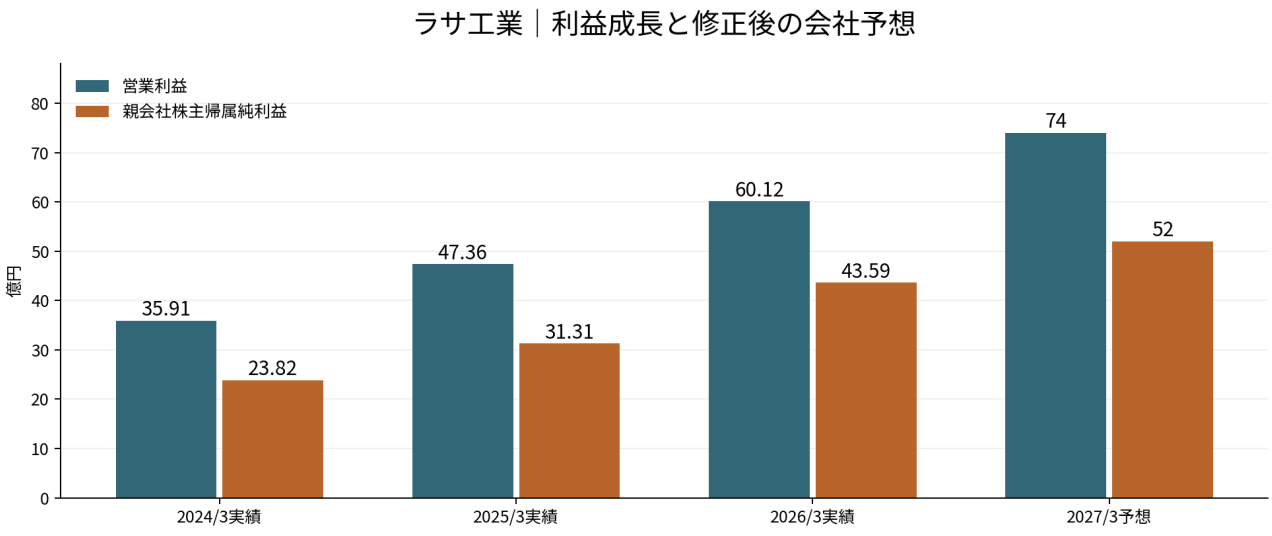
今回示された中間期・通期の数字はいずれも会社予想です。中間決算の発表予定日は11月11日で、現時点の最新実績は8月12日公表の第1四半期です。第1四半期は売上高137.09億円（前年同期比30.9%増）、営業利益18.05億円（37.0%増）、純利益13.12億円（20.5%増）でした。

通期・億円	前期実績	前回→今回予想
売上高	477.27	540→620
営業利益	60.12	62→74
経常利益	61.91	63→76
純利益	43.59	43→52

純利益は親会社株主に帰属する当期純利益です。修正後の営業利益は前期比23.1%増、純利益は19.3%増の見通しです。営業利益率は前期の12.6%から今期予想11.9%へ低下する計算で、売上拡大がそのまま利益率改善を意味するわけではありません。

中間期予想は売上高260億円から287億円、営業利益28億円から34.5億円へ増額されました。国内外の半導体向け高純度リン酸の出荷が伸び、4月に稼働した台湾の増産設備が当初計画を上回って寄与しています。光通信用の化合物半導体材料の需要も拡大しています。一方、原料の黄リン価格上昇は負担です。

会社はガリウムのスポット販売も上振れ要因に挙げていますが、その利益寄与額は今回の開示では分かりません。同じ規模の販売が毎期続くと仮定せず、継続収益との内訳を確認したいところです。発表前の市場予想は確認できておらず、「市場期待以上」とは断定しません。



2027/3は2026年11月4日修正予想。ガリウムのスポット販売も寄与。出典：会社決算短信・業績予想修正。

利益は実績と会社予想を区別しています。今期予想は2026年11月4日修正後です。

事業と利益の源泉

中心は半導体の製造工程で使う高純度リン酸です。不純物を抑える品質と安定供給が重要な材料で、半導体メーカーの稼働や増産が販売に影響します。2026年3月期の高純度リン酸売上高は167.96億円で、連結売上高の約35%を占めました。

化成品にはリン酸関連製品のほか、水処理用凝集剤なども含まれます。電子材料では高純度インジウムなどを供給し、AIデータセンターで使われる光通信部品の需要拡大が追い風です。同社は材料側の企業であり、光トランシーバーそのものを製造する会社ではありません。機械事業では破砕機や掘進機などを扱います。

台湾の供給能力増強は、需要を取り込むための具体的な投資です。ただし、稼働後には減価償却費も発生します。数量増と採算の両方を確認する必要があり、半導体需要の循環、原料調達コスト、製品構成の変化が今後の利益を左右します。



半導体材料・台湾増産と今回の増配を図解。工場や騒動は事業を題材にした架空の演出です。

中期・長期経営計画

「中期経営計画2026」は2024〜2026年度（2025年3月期〜2027年3月期）を対象とし、長期構想「Rasa Vision 2033」の第1段階に当たります。公表された中計の最終年度目標は売上高520億円、営業利益48億円、ROE10%以上です。今回の通期予想620億円・74億円は、その当初目標を上回ります。中計目標と最新の年度予想を混同しないことが大切です。

長期目標は2034年3月期に売上高800億円、営業利益80億円です。現在の74億円予想が長期目標に近づいていても、スポット販売などの寄与を含む単年度予想だけで長期計画を達成したとは評価できません。

中計の3年間の資金配分は営業CF120億円、投資CF95億円、株主還元25億円を計画しています。投資の内訳は成長・新規事業約65億円、その他設備約30億円です。台湾増産などの設備を実際の販売と現金回収につなげることが、配当余力の拡大にもつながります。

配当の安定性と増配余地

配当の安定性

直近10期（2017年3月期〜2026年3月期）に無配・減配はありません。2017年10月の10株を1株とする併合と、2026年4月の1株を5株とする分割を調整しています。現在の株式基準で年間配当は4円から36円へ増えています。

会社は安定的な配当と配当性向の向上を掲げ、中計では配当性向30%以上を目標としています。一方、確認した現行資料に累進配当やDOEの明示はありません。配当性向の目標は利益に対する割合であり、1株当たり配当を前期以上に保つ約束とは異なります。

今回の予想配当性向は、年間43円÷修正後EPS133.08円＝32.31%です。会社目標に沿う水準ですが、低い性向だけを理由に増配を保証することはできません。

増配余地

資金収支・億円	2025年3月期	2026年3月期
営業CF	50.38	61.49
投資CF	▲18.29	▲44.85
配当支払額	7.64	10.60

2026年3月期は営業CFから投資CFの支出を差し引いて16.64億円が残り、配当支払10.60億円を賄えています。有形固定資産取得の支出は43.73億円へ増えましたが、短期・長期借入金の合計は前期末比8.31億円減少しました。売上債権の増加に加え、棚卸資産の増加で10.27億円の資金を使っており、増産時の運転資金にも注意が必要です。

最新の2026年6月末は現預金48.88億円、短期・長期借入金合計71.58億円、自己資本比率62.5%です。借入金が現預金を上回るため、ネットキャッシュ企業とは扱いません。第1四半期のCF計算書は公表されていないため、CF評価には直近通期実績を使っています。以上から財務は○と評価します。

増配余地の中心は、台湾の増産設備と光通信用材料が生む継続的な利益です。配当性向は既に目標の30%を超えるため、今後は性向の引き上げだけでなく利益成長が重要になります。11月11日の中間決算では、増産後の利益率、在庫・売上債権、ガリウム販売の寄与を確認します。



営業利益予想と配当原資を区別して図解。CFは2026年3月期実績です。

配当株としての投資評価

取得基準：直近終値（2026年11月4日15:30）。取得日時：2026年11月5日01:02 JST。出典：Yahoo!ファイナンス、みずほ証券（QUICK）。終値・高安・出来高を同一日で照合済みです。Yahoo!はリアルタイム表示、みずほは最低15分遅延ですが、ここでは取引終了後の確定終値を使用しています。日経はアクセス制限で確認できませんでした。

株価項目	確認値
銘柄／市場	ラサ工業（4022）／東証プライム
直近終値	1,465円
前日比	▲69円（▲4.50%）
当日高値／安値	1,526円／1,364円
出来高	1,786,700株
時価総額	581.91億円
52週高値／安値	確認できません（年初来値で代用しません）
直近決算発表	2026年8月12日（第1四半期）

前日比率は両ソースの終値1,465円と前日終値1,534円から再計算して小数第2位に丸めています。みずほの表示は▲4.49%で、率の表示に差があります。株価は今回開示と同時刻の終値であり、発表後の反応として扱いません。

予想指標は株価情報サイトの未更新表示を使わず、今回修正された会社予想の配当43円・EPS133.08円で計算しています。ROEは2026年3月期の会社公表実績です。

チェック項目	条件	今回の判定
配当利回り	3%以上	2.94% △
予想PER	10倍以下	11.01倍 △
予想配当性向	30%以下	32.31% △
収益性（ROE）	8%以上	14.6% ○
10期の配当	無配なし	○ 減配もなし
累進／DOE／増配期待	方針・増配余地	グレー／グレー／○
財務	配当原資・投資・借入負担	○ 投資・配当を賄い借入も減少

4つの優先目安はROEの1項目を満たします。PER15倍以上・ROE5%未満・配当性向60%以上・利回り1%未満という一次足切りには該当しません。優先目安の未達を新しい必須条件にはしていません。

今回の判断は「継続監視」です。増産効果、10期の配当実績、資金収支は評価できます。一方、累進配当の明示がなく、現在の利回りとPERにも強い割安感があるとは言い切れません。スポット販売を除いても増益

が続くかを確認したうえで、利益予想と購入価格の釣り合いを見直します。この評価は記事時点の分析で、保有株の売却や発注を指示するものではありません。



投資評価の一覧。○は当該条件・評価を満たすこと、△は優先目安未達、グレーは方針の明示を確認できないことを示します。

出典・計算基準

2026年11月4日 業績予想・配当予想の修正

2026年3月期 決算短信

2027年3月期 第1四半期決算短信

2026年3月期 決算説明資料

2026年3月期 有価証券報告書

2022年3月期 有価証券報告書

2017年3月期 決算短信・訂正版

配当方針

中期経営計画

IRカレンダー

Yahoo!ファイナンス 株価

みずほ証券 株価

資料確認日：2026年11月5日（JST）。将来の業績・配当は会社予想であり確定値ではありません。配当方針ページの旧予想より11月4日の修正開示を優先しています。図中の工場・設備・騒動は説明用の架空表現です。